

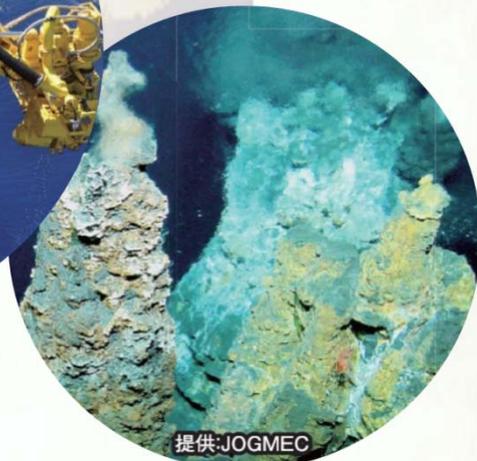
講演会

# 海洋鉱物 資源と 沖縄の未来

令和5年

2/14(火)

10:00~12:00



参加無料

事前登録制

主催 沖縄県 商工労働部 産業政策課

事務局 株式会社日本総合研究所

参加申込はこちら



日時

令和5年2月14日（火）

10:00～12:00【9:45開場】

開催方法

オンライン開催（ZOOM予定）

※参加URL等の詳細はご登録後にご案内します

対象

海洋鉱物資源（海底熱水鉱床など）に関心のある方

## プログラム

## 海洋鉱物資源に関する沖縄県事業について

沖縄近海では、銅や亜鉛などを含む海洋鉱物資源（海底熱水鉱床）の賦存が確認されています。海洋鉱物資源に関する県の取組についてご紹介します。

## 基調講演「海洋鉱物資源に関する取組みと現状について」

## 鈴木 勝彦 氏

国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）

海底資源センター長

&lt;略歴&gt;

1993年に東京大学教養学部の助手としてキャリアをスタート。同位体を利用した硫化物鉱床の年代測定法の開発などを手がける。ソ連崩壊後間もないロシア・カムチャツカやインドネシア・ジャワ島の火口湖調査に参加。1998年京都大学・地球熱学研究施設@別府に異動、美しい別府湾を見ながら日々同位体の分析に励み、地球の歴史をさらに極めたいと決意する。2003年海洋科学技術センター（現海洋研究開発機構）分析解析センターに着任。地球化学をツールとして、地球の深部から表層まで様々なプロセスの研究を行う。2014年海底資源研究開発センターの設立に参加。2016年センター長代理を経て、2019年から現職。地球化学的手法によって海底資源の形成過程を明らかにし、探す手法の開発を担当する。ほかに、縁あって人新世の研究でかつて住んだ別府湾の堆積物を分析し、また、福島第一原発廃炉にも関わる。



## 大岡 隆 氏

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）

金属海洋資源部 担当審議役

&lt;略歴&gt;

昭和59年に現JOGMECの母体の一つである（旧）金属鉱業事業団に入団。以降、海水からウラン等の溶存金属を回収する海水ウランプロジェクトをはじめ、資源探査技術としてリモートセンシング（衛星画像解析）、GIS（地理情報システム）、物理探査技術等の技術開発業務や鉱山評価等を担当。平成19年度からは第二白嶺丸による海底熱水鉱床等の深海底鉱物資源の調査や我が国の大陸棚延伸調査（排他的経済水域の拡張）を担当。平成21年度からはJOGMECの新海洋資源調査船「白嶺（はくれい）」の船体の建造チームリーダーを務める。その後JOGMECのポツワナ地質リモートセンシングセンター（アフリカ・ボツワナ共和国）の所長、石炭開発部長を経て、令和3年度から現職。



お問い合わせ

株式会社日本総合研究所（事務局）

E-mail : 200010-kaiyoushigen@ml.jri.co.jp

電話 : 080-9670-9021